

令和4年度羽曳野市事務事業評価シート(令和3年度実施事業)

事務事業コード 621-01-01

事務事業名		大阪府総合体育大会関連事務事業		事務の種類		自治事務(任意のもの)	
担当部署名		スポーツ振興課		連絡先		内線4413	
総合基本計画	施策目標	6	歴史・文化が息づき 心身ともに躍動するまち	予算科目	会計	1	一般会計
	施策	2	生涯スポーツ・レクリエーション		款	10	教育費
	施策の方向	1	スポーツ・レクリエーションの推進		項	6	保健体育費
事業の概要	対象 (誰を・何を)	府民の各種スポーツの競技者					
	目的 (どうしたいか)	府内各地域のスポーツを振興し、その普及発展とアマチュアスポーツの精神高揚を図り、併せて府民の健康づくりと親睦に寄与しようとするもの。					
	手段 (事業内容)	全13種目(バレーボール、卓球、柔道、剣道、軟式野球、ソフトボール、ソフトテニス、テニス、バドミントン、バスケットボール、サッカー、弓道、駅伝)33種別の競技について、本市が担当する種目の円滑な大会運営を図る。					

予算・決算額		(単位:千円)			≪主な内訳(令和3年度決算)≫	
		令和2年度	令和3年度	令和4年度	【事業費】 大阪府体育連合負担金:0千円 総合スポーツセンター利用料:0千円 ※新型コロナウイルス感染拡大のため大会が中止。	
当初予算額	事業費	150	312	263		
決算額	事業費	0	0	-		
	特定財源等	0	0	-		

活動指標		(事務事業の目的を達成するために、何をどれだけ行ったか)		
指標名	当市における開催日数	単位	日	
指標の説明	当市における大阪府総合体育大会の開催日数			
		令和2年度	令和3年度	令和4年度
目標(見込)		5	5	2
実績		0	0	-

成果指標		(事務事業を実施したことにより、目的がどの程度達成されたか)		
指標名	当市開催の大会参加者数合計	単位	人	
指標の説明	大阪府総合体育大会における当市開催種目の大会参加者数合計			
		令和2年度	令和3年度	令和4年度
目標(見込)		425	529	100
実績		0	0	-

≪事業の参考数値等≫

本市担当種目
【地区大会】
令和3年度(中止)
ソフトボール、バスケットボール
令和4年度
ソフトボール

【中央大会】
令和3年度:卓球(中止)
令和3年度:なし

個別評価			
妥当性	本事業を市が行うのは妥当か。	概ね妥当である。	B
	対象範囲や水準、手段は妥当か。	概ね妥当であるが見直しの余地がある。	
	事業を廃止・休止した場合の影響は大きいか。	影響がある。	
有効性	目的に対する成果は上がっているか。成果向上の余地はあるか。	一定の成果は上がっているが向上余地がある。	B
	類似事業との統廃合はできるか。	統廃合はできない。/類似事業はない。	
	事業の上位目標である施策に貢献しているか。	貢献している。	
効率性	事業費削減の余地はあるか。	削減の余地はない。	A
	人件費削減の余地はあるか。	削減の余地はない。	
	受益者負担の割合は適正か。	適正な受益者負担である。	

総合評価	現状維持
(担当部局による総合評価の理由や課題)	
大阪府体育連合・府市教委・大阪体育協会・各市町村体育協会の主催事業であり、スポーツの普及・振興を図るために、今後も継続すべき事業である。	

今後の改善内容
(令和4年度以後の事業実施への改善内容)
質の高い安定した大会運営を継続していくためには、より協賛企業等を募るなどの取り組みを強化する必要があることから、大阪府体育連合への働きかけ等、理事会・評議員会を通じて行う。

令和4年度羽曳野市事務事業評価シート(令和3年度実施事業)

事務事業コード 621-01-02

事務事業名		市民総合体育大会開催事業		事務の種類		自治事務(任意のもの)	
担当部署名		スポーツ振興課		連絡先		内線4413	
総合基本計画	施策目標	6	歴史・文化が息づき 心身ともに躍動するまち	予算科目	会計	1	一般会計
	施策	2	生涯スポーツ・レクリエーション		款	10	教育費
	施策の方向	1	スポーツ・レクリエーションの推進		項	6	保健体育費
事業の概要	対象 (誰を・何を)	青少年の健全育成や市民の健康づくり					
	目的 (どうしたいか)	大会を通じて競技スポーツの普及発展とアマチュアスポーツ精神の高揚を図り、併せて健康の増進と親睦を図る。					
	手段 (事業内容)	各種目(ソフトボール、バドミントン、卓球、バレーボール、剣道、柔道、サッカー、バスケットボール、ソフトテニス、テニス)の参加受付及び取りまとめや、円滑な大会運営のための主管団体との連絡調整、当日運営補助等。					

予算・決算額		(単位:千円)			≪主な内訳(令和3年度決算)≫
		令和2年度	令和3年度	令和4年度	【事業費】 市民総合体育大会実行委員会への大会運営として 助成金:1,547千円 総合スポーツセンター利用料:42千円
当初予算額	事業費	2,571	2,610	2,610	
決算額	事業費	1,708	1,589	-	
	特定財源等	0	0	-	

活動指標	(事務事業の目的を達成するために、何をどれだけ行ったか)			
指標名	大会開催日数	単位	日	
指標の説明	市民総合体育大会の総開催日数			
		令和2年度	令和3年度	令和4年度
目標(見込)	35	35	35	
実績	26	27	-	

【特定財源】

成果指標	(事務事業を実施したことにより、目的がどの程度達成されたか)			
指標名	大会参加人数	単位	人	
指標の説明	市民総合体育大会の参加人数			
		令和2年度	令和3年度	令和4年度
目標(見込)	2,614	2,356	2,624	
実績	1,314	1,644	-	

≪事業の参考数値等≫
新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、下記の種目が中止。
【中止】
・バスケットボール(一般男女)
・バレーボール(家庭婦人)
【不成立により中止】
・バレーボール(一般男子)
・テニス(一般男女子2部)

個別評価				
妥当性	本事業を市が行うのは妥当か。	妥当である。		A
	対象範囲や水準、手段は妥当か。	妥当である。		
	事業を廃止・休止した場合の影響は大きいか。	影響がある。		
有効性	目的に対する成果は上がっているか。成果向上の余地はあるか。	一定の成果は上がっているが向上余地がある。		B
	類似事業との統廃合はできるか。	統廃合はできない。/類似事業はない。		
	事業の上位目標である施策に貢献しているか。	貢献している。		
効率性	事業費削減の余地はあるか。	削減の余地はない。		A
	人件費削減の余地はあるか。	削減の余地はない。		
	受益者負担の割合は適正か。	適正な受益者負担である。		

総合評価	現状維持
(担当部局による総合評価の理由や課題)	
新型コロナウイルス感染症による影響はあるものの、当該大会はスポーツの普及・振興に対する一つの柱的な事業である。種目により参加者数の増減があることから、競技種目ごとに部門の細分化や統合を行う必要がある。	

今後の改善内容
(令和4年度以後の事業実施への改善内容)
今後も主管団体となる体育協会及び中学校体育連盟と連携し、競技スポーツの普及発展等に重点を置いた大会として、市民が幅広く参加できるよう取り組みを進める。

令和4年度羽曳野市事務事業評価シート(令和3年度実施事業)

事務事業コード 621-01-03

事務事業名		スポーツ大会開催事業		事務の種類		自治事務(任意のもの)	
				連絡先		内線4416	
担当部署名		スポーツ振興課		予算科目	会計	1	一般会計
総合基本計画	施策目標	6	歴史・文化が息づき 心身ともに躍動するまち		款	10	教育費
	施策	2	生涯スポーツ・レクリエーション		項	6	保健体育費
	施策の方向	1	スポーツ・レクリエーションの推進		目	1	保健体育総務費
事業の概要	対象 (誰を・何を)	市民					
	目的 (どうしたいか)	スポーツ大会を通じて、健康・体力づくりと参加者相互の親睦・交流を図る。					
	手段 (事業内容)	市民体育祭、市民マラソン大会、少年サッカー大会、グラウンド・ゴルフ大会等を開催。開催にあたっては、体育協会、スポーツ推進委員、スポーツ少年団、グラウンド・ゴルフ協会等、各関係団体と連携、また、一部を民間に委託し実施。					

予算・決算額		(単位:千円)			≪主な内訳(令和3年度決算)≫	
		令和2年度	令和3年度	令和4年度	【事業費】 スポーツ大会開催委託料:3,408千円 賞品代:231千円 【特定財源】 大会等参加費:212千円	
当初予算額	事業費	8,353	7,840	8,801		
決算額	事業費	5,012	3,638	-		
	特定財源等	234	212	-		

活動指標		(事務事業の目的を達成するために、何をどれだけ行ったか)		
指標名	大会日数	単位	日	
指標の説明	市民体育祭、市民マラソン大会、少年サッカー大会、グラウンドゴルフ大会等の総開催日数			
		令和2年度	令和3年度	令和4年度
目標(見込)		13	17	17
実績		9	5	-

成果指標		(事務事業を実施したことにより、目的がどの程度達成されたか)		
指標名	全体会の参加人数	単位	人	
指標の説明	市民体育祭、市民マラソン大会、少年サッカー大会、グラウンドゴルフ大会等の参加延べ人数			
		令和2年度	令和3年度	令和4年度
目標(見込)		8,000	8,000	8,000
実績		816	725	-

≪事業の参考数値等≫

【各大会参加者延べ人数】
 市民体育祭:中止
 市民マラソン大会:中止
 小学生サッカー大会:廃止
 (以下グラウンド・ゴルフ)
 月例会(3回):459人
 グランドチャンピオン大会:66人
 3市町ふれあい交流大会:中止
 市長杯大会:200人

個別評価				
妥当性	本事業を市が行うのは妥当か。	妥当である。		A
	対象範囲や水準、手段は妥当か。	妥当である。		
	事業を廃止・休止した場合の影響は大きいか。	影響がある。		
有効性	目的に対する成果は上がっているか。成果向上の余地はあるか。	期待どおりの成果が上がっている。		B
	類似事業との統廃合はできるか。	統廃合について検討の余地がある。		
	事業の上位目標である施策に貢献しているか。	貢献している。		
効率性	事業費削減の余地はあるか。	削減の余地はない。		A
	人件費削減の余地はあるか。	削減の余地はない。		
	受益者負担の割合は適正か。	適正な受益者負担である。		

総合評価	現状維持
(担当部局による総合評価の理由や課題)	
令和3年度については、市民体育祭、市民マラソン大会、グラウンド・ゴルフ大会の月例4～9・1～3月大会・3市町ふれあい交流大会を新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止とし、参加人数については目標の達成には至らなかった。しかしながら、例年、市民体育祭、市民マラソン大会、グラウンド・ゴルフ大会については、いずれも市民に親しまれた大会として多くの参加者により実施していることから、今後も市民の健康及び体力づくりに欠かせない事業として継続して行うこととする。	

今後の改善内容
(令和4年度以後の事業実施への改善内容)
新型コロナウイルス感染症の影響が続いているが、感染状況が改善されている時期も見受けられるため、各大会を実施する場合は、市の方針やガイドライン等に沿った感染防止対策を講じた上で実施する。

令和4年度羽曳野市事務事業評価シート(令和3年度実施事業)

事務事業コード 621-02-01

事務事業名		普通救命講習会開催事業		事務の種類		自治事務(任意のもの)	
担当部署名		スポーツ振興課		連絡先		内線4411	
総合基本計画	施策目標	6	歴史・文化が息づき 心身ともに躍動するまち	予算科目	会計	1	一般会計
	施策	2	生涯スポーツ・レクリエーション		款	10	教育費
	施策の方向	1	スポーツ・レクリエーションの推進		項	6	保健体育費
事業の概要	対象 (誰を・何を)	市民					
	目的 (どうしたいか)	スポーツやレクリエーション活動等において、疾患等の事故が発生した際に適切な処置を行えるよう、心肺蘇生法、AEDの使用法等の救命処置等について講習を受けていただく事で、活動の安全性向上を図る。					
	手段 (事業内容)	普通救命講習会実施に係る参加者募集の為の広報掲載、使用施設の予約(総合スポーツセンター)、当日受付及び運営補助、当日の準備事務等を行っている。また、講師については柏原羽曳野藤井寺消防本部に依頼し、実施内容等を調整し、開催している。					

予算・決算額		(単位:千円)			≪主な内訳(令和3年度決算)≫	
		令和2年度	令和3年度	令和4年度	【事業費】 会場使用料:14千円 【特定財源】	
当初予算額	事業費	35	40	42		
決算額	事業費	0	14	-		
	特定財源等	0	0	-		

活動指標		(事務事業の目的を達成するために、何をどれだけ行ったか)		
指標名	普通救命講習会開催日数	単位	日	
指標の説明	普通救命講習会の開催日数			
		令和2年度	令和3年度	令和4年度
目標(見込)	2	2	2	
実績	0	1	-	

成果指標		(事務事業を実施したことにより、目的がどの程度達成されたか)		
指標名	普通救命講習会参加人数	単位	人	
指標の説明	普通救命講習会の参加人数			
		令和2年度	令和3年度	令和4年度
目標(見込)	160	100	100	
実績	0	20	-	

≪事業の参考数値等≫
 本講習会については、当初2日間の開催を予定していたが、新型コロナウイルス感染症拡大の影響により、1日開催となった。

個別評価			
妥当性	本事業を市が行うのは妥当か。	妥当である。	
	対象範囲や水準、手段は妥当か。	妥当である。	
	事業を廃止・休止した場合の影響は大きいか。	影響は大きい。	
有効性	目的に対する成果は上がっているか。成果向上の余地はあるか。	期待どおりの成果が上がっている。	
	類似事業との統廃合はできるか。	統廃合はできない。/類似事業はない。	
	事業の上位目標である施策に貢献しているか。	大きく貢献している。	
効率性	事業費削減の余地はあるか。	削減の余地はない。	
	人件費削減の余地はあるか。	削減の余地はない。	
	受益者負担の割合は適正か。	受益者負担を求める性質のものではない。	

総合評価	現状維持
(担当部局による総合評価の理由や課題)	
救急救命講習については、学校体育施設開放事業(プール)や、スポーツ推進事業においては必要不可欠であり、3年に1度、資格の更新が必要なため、定期的な開催が必要である。今後は、事前のWEB講習による受講時間の短縮等の講習内容の見直しの検討を進める。 令和3年度については、新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から学校体育施設開放事業等のプール開放を中止としたこともあり、参加者が減少したため、開催を1日とした。今後、本事業にあつては、新型コロナウイルス感染症の感染状況等をみながら実施する必要がある。	

今後の改善内容
(令和4年度以後の事業実施への改善内容)
令和4年度は、厚生労働省が推奨している「新型コロナウイルス感染症の流行を踏まえた市民による救急蘇生法について(指針)」に基づき関係団体と連携しながら講習を行う。

令和4年度羽曳野市事務事業評価シート(令和3年度実施事業)

事務事業コード 622-01-01

事務事業名		スポーツ推進委員関連事務事業		事務の種類		自治事務(義務的なもの)	
				連絡先		内線4415	
担当部署名		スポーツ振興課		予算科目	会計	1	一般会計
総合基本計画	施策目標	6	歴史・文化が息づき 心身ともに躍動するまち		款	10	教育費
	施策	2	生涯スポーツ・レクリエーション		項	6	保健体育費
	施策の方向	2	スポーツ・レクリエーションを推進する仕組みづくり		目	1	保健体育総務費
事業の概要	対象 (誰を・何を)	市民					
	目的 (どうしたいか)	スポーツの実技指導及びニュースポーツの普及活動をととして、心身の健全な発達、生きがいのある豊かな生活の実現に寄与する。					
	手段 (事業内容)	スポーツ基本法に基づき教育委員会が委嘱した各小学校区最大2名の委員が、生涯スポーツの推進役として市民の求めに応じてスポーツの実技指導を行う。また、市民のスポーツ活動の促進の為、スポーツ団体のみならず、学校、公民館等の教育機関その他行政機関の行うスポーツ関連の行事や事業に協力する。					

予算・決算額		(単位:千円)			≪主な内訳(令和3年度決算)≫	
		令和2年度	令和3年度	令和4年度	【事業費】 報酬:1,500千円 食糧費:8千円 総合スポーツセンター利用料:42千円 負担金:28千円 被服費:0千円 消耗品費:12千円 庁用器具費:71千円	
当初予算額	事業費	2,159	2,029	2,172		
決算額	事業費	1,691	1,661	-		
	特定財源等	0	0	-		

活動指標		(事務事業の目的を達成するために、何をどれだけ行ったか)		
指標名	定例会の開催回数	単位	回	
指標の説明	定例会として、イベント等に係る協議・調整等の会議及びニュースポーツ等の実技研修会の開催回数			
		令和2年度	令和3年度	令和4年度
目標(見込)		12	12	12
実績		9	9	-

成果指標		(事務事業を実施したことにより、目的がどの程度達成されたか)		
指標名	イベントの開催回数	単位	回	
指標の説明	「ニュースポーツのつどい」と題した、市民が無料で気軽に参加できる、バウンスボール、カローリング等のニュースポーツ体験イベントの開催回数4回。令和4年度はウォーキングイベントも1回実施予定。			
		令和2年度	令和3年度	令和4年度
目標(見込)		4	5	5
実績		1	2	-

≪事業の参考数値等≫
 新型コロナウイルス感染症の影響により予定していたイベント開催回数には届かなかったが、前年度よりは増加。

個別評価				
妥当性	本事業を市が行うのは妥当か。	妥当である。		B
	対象範囲や水準、手段は妥当か。	概ね妥当であるが見直しの余地がある。		
	事業を廃止・休止した場合の影響は大きいのか。	影響がある。		
有効性	目的に対する成果は上がっているか。成果向上の余地はあるか。	一定の成果は上がっているが向上余地がある。		B
	類似事業との統廃合はできるか。	統廃合はできない。/類似事業はない。		
	事業の上位目標である施策に貢献しているか。	貢献している。		
効率性	事業費削減の余地はあるか。	削減の余地はない。		B
	人件費削減の余地はあるか。	削減の余地はない。		
	受益者負担の割合は適正か。	見直しを検討する余地がある。		

総合評価	改善して継続
(担当当局による総合評価の理由や課題)	
市全域における社会体育及び生涯スポーツ等の普及を担っており、主催イベントのみならず、教育委員会主催イベントにも協力するなど、市内におけるスポーツの普及や推進に必要な組織である。また、各小学校区ごとに委員が選出されていることから、市民との直接的な情報交換の窓口として、地域スポーツの振興に市民の意見が反映できている。一方、スポーツ推進委員へのなり手が不足し、後継者問題にも発展しつつあることから、スポーツ推進委員の資質の向上、やりがいを感じられるインセンティブを検討するなど、継続した活動を推進し、スポーツ推進委員の認知度や評価度が向上する取り組みも必要となっている。	

今後の改善内容
(令和4年度以後の事業実施への改善内容)
引き続き新型コロナウイルス感染症の影響により活動が制限されることも予想されるが、対策を講じたうえで実施可能なイベントや会議等は積極的に実施できるよう取り組んでいく。 また、委員で構成される協議会の会議において、より活発な議論を行い、協議会の方向性の統一を図るとともに、市民のニーズをもとにイベント等のスクラップ&ビルドに取り組み、より市民に対して効果的な事業となるように改善していく。

令和4年度羽曳野市事務事業評価シート(令和3年度実施事業)

事務事業コード 623-01-02

事務事業名	体育施設管理事務事業			事務の種類		自治事務(任意のもの)
				連絡先		内線4411
担当部署名	スポーツ振興課			予算科目	会計	1 一般会計
総合基本計画	施策目標	6	歴史・文化が息づき 心身ともに躍動するまち		款	10 教育費
	施策	2	生涯スポーツ・レクリエーション		項	6 保健体育費
	施策の方向	3	スポーツ施設の整備・充実		目	3 体育施設管理運営費
事業の概要	対象 (誰を・何を)	羽曳野市直営スポーツ施設(石川スポーツ公園、GG場、中央スポーツ公園、陵南の森運動広場、羽曳が丘テニスコート、茶山テニスコート)				
	目的 (どうしたいか)	施設の適正な管理を行うことで、生涯スポーツの場を提供し、市民の健康の保持増進及び相互交流の促進を図る。				
	手段 (事業内容)	施設の維持管理				

予算・決算額		(単位:千円)			≪主な内訳(令和3年度決算)≫
		令和2年度	令和3年度	令和4年度	【事業費】 光熱水費:2,827千円 業務委託料:16,965千円 修繕費:447千円 手数料:186千円 庁用器具費:1,628千円 【特定財源】 施設使用料:11,995千円 教育財産使用料等(電柱・自販機等):1,843千円
当初予算額	事業費	25,242	23,231	48,042	
決算額	事業費	25,487	22,053	-	
	特定財源等	15,868	13,838	-	

活動指標	(事務事業の目的を達成するために、何をどれだけ行ったか)			
指標名	業務委託数	単位	件	
指標の説明	施設を適正に維持管理するために行った業務の委託数			
		令和2年度	令和3年度	令和4年度
目標(見込)	11	11	10	
実績	11	11	-	

成果指標	(事務事業を実施したことにより、目的がどの程度達成されたか)			
指標名	施設全体の合計利用者数	単位	人	
指標の説明	1年間の延べ利用者数(市直営のスポーツ6施設合計)			
		令和2年度	令和3年度	令和4年度
目標(見込)	190,000	130,000	130,000	
実績	124,095	116,803	-	

≪事業の参考数値等≫
 (各施設延べ利用者数)
 石川スポーツ公園:43,720人
 陵南の森運動広場:15,525人
 中央スポーツ公園:16,130人
 羽曳が丘テニスコート:6,501人
 茶山テニスコート:5,607人
 グラウンド・ゴルフ場:29,320人
 【休館日】12月29日~1月3日
 ※臨時休館(感染拡大防止)
 4月25日(日)~6月20日(日)(57日間)

個別評価				
妥当性	本事業を市が行うのは妥当か。	妥当である。		B
	対象範囲や水準、手段は妥当か。	概ね妥当であるが見直しの余地がある。		
	事業を廃止・休止した場合の影響は大きいか。	影響は大きい。		
有効性	目的に対する成果は上がっているか。成果向上の余地はあるか。	一定の成果は上がっているが向上余地がある。		B
	類似事業との統廃合はできるか。	統廃合はできない。/類似事業はない。		
	事業の上位目標である施策に貢献しているか。	貢献している。		
効率性	事業費削減の余地はあるか。	削減の余地はない。		B
	人件費削減の余地はあるか。	削減を検討する余地がある。		
	受益者負担の割合は適正か。	適正な受益者負担である。		

総合評価	現状維持
(担当部局による総合評価の理由や課題)	
体育施設の管理については、市民の健康の保持増進及び相互交流の促進を図る観点から、立地や使用内容に応じて無料施設と有料施設を分類しながら管理し、生涯スポーツの場として提供しており、施設の修繕費や管理・整備等に係る事業費については概ね妥当である。 今後の課題として、整備から30年以上経過した施設において、フェンス等の老朽化に対応する必要がある。	

今後の改善内容
(令和4年度以後の事業実施への改善内容)
市の上位計画との整合性を図りながら、計画的な事業計画や修繕計画の策定、指定管理者制度の導入等を検討し、適正な管理を継続して行う。

令和4年度羽曳野市事務事業評価シート(令和3年度実施事業)

事務事業コード 623-01-03

事務事業名		体育施設運営事務事業		事務の種類		自治事務(任意のもの)	
				連絡先		内線4411	
担当部署名		スポーツ振興課		予算科目	会計	1	一般会計
総合基本計画	施策目標	6	歴史・文化が息づき 心身ともに躍動するまち		款	10	教育費
	施策	2	生涯スポーツ・レクリエーション		項	6	保健体育費
	施策の方向	3	スポーツ施設の整備・充実		目	3	体育施設管理運営費
事業の概要	対象 (誰を・何を)	羽曳野市直営スポーツ施設(石川スポーツ公園、GG場、中央スポーツ公園、陵南の森運動広場、羽曳が丘テニスコート、茶山テニスコート)					
	目的 (どうしたいか)	施設の適正な運営を行うことで、生涯スポーツの場を提供し、市民の健康の保持増進及び相互交流の促進を図る。					
	手段 (事業内容)	市職員による利用者対応					

予算・決算額		(単位:千円)			≪主な内訳(令和3年度決算)≫	
		令和2年度	令和3年度	令和4年度	【事業費】 消耗品費:338千円 砂代:310千円 原材料費:41千円 保険料:11千円 印刷製本費:96千円 電話料:96千円 複写機保守:6千円 医薬材料費:5千円	
当初予算額	事業費	1,798	1,568	1,742		
決算額	事業費	1,320	902	-		
	特定財源等	0	0	-		

活動指標		(事務事業の目的を達成するために、何をどれだけ行ったか)		
指標名	開館・開場・開園日数	単位	日	
指標の説明	各施設の開館・開場及び開園の日数			
		令和2年度	令和3年度	令和4年度
目標(見込)		317	300	359
実績		317	302	-

成果指標		(事務事業を実施したことにより、目的がどの程度達成されたか)		
指標名	施設全体の合計利用者数	単位	人	
指標の説明	1年間の延べ利用者数(市直営のスポーツ5施設合計)			
		令和2年度	令和3年度	令和4年度
目標(見込)		190,000	130,000	130,000
実績		124,095	116,803	-

≪事業の参考数値等≫
 (各施設延べ利用者数)
 石川スポーツ公園:43,720人
 陵南の森運動広場:15,525人
 中央スポーツ公園:16,130人
 羽曳が丘テニスコート:6,501人
 茶山テニスコート:5,607人
 グラウンド・ゴルフ場:29,320人
 【休館日】12月29日~1月3日
 ※臨時休館(感染拡大防止)
 4月25日(日)~6月20日(日)(57日間)

個別評価				
妥当性	本事業を市が行うのは妥当か。	妥当である。		B
	対象範囲や水準、手段は妥当か。	概ね妥当であるが見直しの余地がある。		
	事業を廃止・休止した場合の影響は大きいか。	影響は大きい。		
有効性	目的に対する成果は上がっているか。成果向上の余地はあるか。	一定の成果は上がっているが向上余地がある。		B
	類似事業との統廃合はできるか。	統廃合はできない。/類似事業はない。		
	事業の上位目標である施策に貢献しているか。	貢献している。		
効率性	事業費削減の余地はあるか。	削減の余地はない。		B
	人件費削減の余地はあるか。	削減を検討する余地がある。		
	受益者負担の割合は適正か。	適正な受益者負担である。		

総合評価	現状維持
(担当部局による総合評価の理由や課題)	
市直営の体育施設には、無料施設と有料施設があり、有料施設の管理形態としては、会計年度職員等による市職員での管理のほか、事業者へ委託し施設の運用を行っており、施設運営に係る事業費については妥当である。なお、新型コロナウイルス感染症による臨時休業や施設の利用自粛等による影響で、施設利用者数は減少しているものの、ジョギングや体操など、施設を利用した健康維持等については、例年以上の役割を果たしているところである。	

今後の改善内容
(令和4年度以後の事業実施への改善内容)
引き続き、新型コロナウイルス感染症拡大防止対策を行いながら、利用者が安全に活動できるよう取り組みを進める。

令和4年度羽曳野市事務事業評価シート(令和3年度実施事業)

事務事業コード 623-01-06

事務事業名		スポーツ施設利用予約システム運営事務事業		事務の種類		自治事務(任意のもの)	
				連絡先		内線4413	
担当部署名		スポーツ振興課		予算科目	会計	1	一般会計
総合基本計画	施策目標	6	歴史・文化が息づき 心身ともに躍動するまち		款	10	教育費
	施策	2	生涯スポーツ・レクリエーション		項	6	保健体育費
	施策の方向	3	スポーツ施設の整備・充実		目	1	保健体育総務費
事業の概要	対象 (誰を・何を)	羽曳野市民及び羽曳野市外利用者					
	目的 (どうしたいか)	スポーツ施設予約システムを整備することにより、スポーツ施設の利用予約や利用料金の支払い等の利便性の向上を図り、スポーツ施設の利用を促進する。					
	手段 (事業内容)	パソコンやスマートフォンからインターネット経由でスポーツ施設の空き情報の照会や利用申込・取消し等を可能とする。また、利用料金の口座振替により支払いの利便性の向上を図る。					

予算・決算額		(単位:千円)			≪主な内訳(令和3年度決算)≫	
		令和2年度	令和3年度	令和4年度	【事業費】 口座振替分割統合処理料:27千円 システム運用委託料:1,783千円 【特定財源等】 システム登録・更新・再交付手数料: 126千円	
当初予算額	事業費	8,576	1,813	1,930		
決算額	事業費	8,506	1,810	-		
	特定財源等	67	126	-		

活動指標		(事務事業の目的を達成するために、何をどれだけ行ったか)		
指標名	システム稼働日数	単位	日	
指標の説明	スポーツ施設予約システムの稼働日数			
		令和2年度	令和3年度	令和4年度
目標(見込)		365	365	365
実績		365	365	-

成果指標		(事務事業を実施したことにより、目的がどの程度達成されたか)		
指標名	スポーツ施設予約システム登録件数	単位	件	
指標の説明	スポーツ施設予約システムの利用者登録件数			
		令和2年度	令和3年度	令和4年度
目標(見込)		1,100	1,000	1,000
実績		938	950	-

個別評価			
妥当性	本事業を市が行うのは妥当か。	妥当である。	
	対象範囲や水準、手段は妥当か。	妥当である。	
	事業を廃止・休止した場合の影響は大きいか。	影響がある。	
有効性	目的に対する成果は上がっているか。成果向上の余地はあるか。	期待どおりの成果が上がっている。	
	類似事業との統廃合はできるか。	統廃合はできない。/類似事業はない。	
	事業の上位目標である施策に貢献しているか。	貢献している。	
効率性	事業費削減の余地はあるか。	削減の余地はない。	
	人件費削減の余地はあるか。	削減の余地はない。	
	受益者負担の割合は適正か。	適正な受益者負担である。	

総合評価	現状維持
(担当部局による総合評価の理由や課題)	
施設利用者の利便性の向上等、市民のスポーツ施設の利用の促進に大きな役割を担っている本システムについては、本年度6月に安全性の向上やシステム運用におけるランニングコストの削減を行えるようシステムサーバのクラウド化を実施した。	

今後の改善内容
(令和4年度以後の事業実施への改善内容)
引き続き、インターネットを経由し、いつでもどこでも安全に空き情報照会や利用予約、抽選機能、口座振替による利用料金の支払いなどが可能となるよう、システムの管理運営に取り組む。

令和4年度羽曳野市事務事業評価シート(令和3年度実施事業)

事務事業コード 623-02-01

事務事業名		学校体育施設開放事務事業		事務の種類		自治事務(任意のもの)	
				連絡先		内線4411	
担当部署名		スポーツ振興課		予算科目	会計	1	一般会計
総合基本計画	施策目標	6	歴史・文化が息づき 心身ともに躍動するまち		款	10	教育費
	施策	2	生涯スポーツ・レクリエーション		項	6	保健体育費
	施策の方向	3	スポーツ施設の整備・充実		目	1	保健体育総務費
事業の概要	対象 (誰を・何を)	スポーツ・レクリエーション団体等					
	目的 (どうしたいか)	学校教育に支障のない範囲で小中学校のグラウンド、体育館、プール等を開放することにより、市民にスポーツやレクリエーション等に親しむ場を提供する。					
	手段 (事業内容)	市内居住・通学・通勤する者10名以上で構成する団体を対象に、毎年度、利用団体登録を行った上で、当該団体から月単位で利用申請書の提出を受け、夜間や休日等、学校教育に支障がないと認められた日時の体育施設の利用承認を行う。					

予算・決算額		(単位:千円)			≪主な内訳(令和3年度決算)≫	
		令和2年度	令和3年度	令和4年度	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px;">【事業費】</div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;">【特定財源】</div>	
当初予算額	事業費	0	0	49		
決算額	事業費	0	0	-		
	特定財源等	0	0	-		

活動指標		(事務事業の目的を達成するために、何をどれだけ行ったか)		
指標名	開放小中学校等数	単位	開放校	
指標の説明	学校体育施設を開放している小・中・義務教育学校の数			
		令和2年度	令和3年度	令和4年度
目標(見込)		18	18	18
実績		18	18	-

成果指標		(事務事業を実施したことにより、目的がどの程度達成されたか)		
指標名	利用実績延べ人数	単位	人	
指標の説明	学校体育施設を利用した延べ人数			
		令和2年度	令和3年度	令和4年度
目標(見込)		150,000	160,000	160,000
実績		154,104	99,811	-

≪事業の参考数値等≫

新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、令和3年4月16日から6月20日まで、8月28日～9月30日まで、令和4年1月27日～3月6日までを中止とした。また、夏場のプール施設の開放についても中止とした。

個別評価				
妥当性	本事業を市が行うのは妥当か。	妥当である。		A
	対象範囲や水準、手段は妥当か。	妥当である。		
	事業を廃止・休止した場合の影響は大きいか。	影響は大きい。		
有効性	目的に対する成果は上がっているか。成果向上の余地はあるか。	期待どおりの成果が上がっている。		A
	類似事業との統廃合はできるか。	統廃合はできない。/類似事業はない。		
	事業の上位目標である施策に貢献しているか。	大きく貢献している。		
効率性	事業費削減の余地はあるか。	削減の余地はない。		B
	人件費削減の余地はあるか。	削減の余地はない。		
	受益者負担の割合は適正か。	見直しを検討する余地がある。		

総合評価	現状維持
(担当部局による総合評価の理由や課題)	
<p>市民へのスポーツ活動の環境等を提供する事業として、新型コロナウイルス感染症の影響下においても、一定の利用者数となっていることから引き続きリスク管理を徹底し、事業を推進していく。なお、利用希望団体数の増加に伴い、希望に見合う利用が困難な学校施設も増加してきており、平等に施設を提供できるよう利用団体向けの説明会開催等、利用調整に必要な仕組づくりと、遵守事項の確認を引き続き書面やメール等で行う必要がある。</p>	

今後の改善内容	<p>(令和4年度以後の事業実施への改善内容)</p> <p>新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から、開放校の校長・教頭と十分連携を取りながら、利用団体に対し参加者名簿の作成や利用後の施設の消毒等、感染防止対策を徹底した上で開放日数の確保に努める。</p>
---------	------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------